

教育上必要な機械、標本、模型のアンケート調査結果について

全国リハビリテーション学校協会は、今般の指定規則改定における養成所指導ガイドライン（改正案）に示す「教育上必要な機械器具、標本、模型」の設置状況を言語聴覚士養成会員校に対して調査を行った。以下、結果の概要について報告する。

(1) 調査結果

分類	名称	必要数	全調査対象			
			大学	専門学校		
1. 機械器具	動画記録・再生システム	2式	9/9	5/5	4/4	
	音声録音再生装置	10人に1台以上 1学級分	8/9	4/5	4/4	
	オーディオメータ(JIS 診断用 I 型)	10人に1台以上 1学級分	8/9	4/5	4/4	
	幼児聴力検査装置 (COR 検査、PS 検査等が可能なもの)	20人に1台以上 1学級分	9/9	5/5	4/4	
	インピーダンスオーディオメータ	20人に1台以上 1学級分	9/9	5/5	4/4	
	補聴器特性測定装置	20人に1台以上 1学級分	9/9	5/5	4/4	
	人工内耳マッピングシステム	1台以上	9/9	5/5	4/4	
	騒音計	20人に1台以上 1学級分	9/9	5/5	4/4	
	音響分析装置	1台以上	9/9	5/5	4/4	
	発音訓練装置	1台以上	8/9	4/5	4/4	
	呼吸機能検査装置	1台以上	7/9	3/5	4/4	
	発声機能検査装置	1台以上	9/9	5/5	4/4	
	ファンクションジェネレータ	1台以上	7/9	3/5	4/4	
	音響フィルタ	20人に1台以上 1学級分	0/9	0/5	0/4	
	心理検査・言語検査用具(各種)	適当数	9/9	5/5	4/4	
	補聴器(数種類)	適当数	9/9	5/5	4/4	
	人工喉頭	1台以上	8/9	4/5	4/4	
	コミュニケーションエイド(各種)	適当数	8/9	4/5	4/4	
	訓練教材(各種)	適当数	9/9	5/5	4/4	
	発声発語器官検査・用具一式(鼻息鏡等)	適当数	9/9	5/5	4/4	
	平衡機能検査 (重心動揺計・フレンツェル眼鏡等)	1台以上	2/9	2/5	0/4	
	聴性誘発反応検査装置	1台以上	5/9	4/5	1/4	
	吸引装置一式(吸引模型含む)	1台以上	6/9	4/5	2/4	
	舌圧計	10人に1台以上 1学級分	3/9	3/5	0/4	
	酸素飽和度測定器	10人に1台以上 1学級分	5/9	3/5	2/4	
	血圧計	10人に1台以上 1学級分	8/9	4/5	4/4	
	リクライニング椅子またはベッド	1台以上	7/9	5/5	2/4	
	救急蘇生装置(AED) シミュレーター	1台以上	4/9	2/5	2/4	
	2. 模型	人体解剖模型	1台以上	9/9	5/5	4/4
		聴覚系解剖模型	1台以上	9/9	5/5	4/4
		発声発語・嚥下系解剖模型	1台以上	9/9	5/5	4/4
神経系解剖模型		1台以上	9/9	5/5	4/4	
3. 設置が望ましい機器	内視鏡	1台以上	3/9	3/5	0/4	

(2) 調査結果の概要

新たに設置の検討が進められている機器の中で、「平衡機能検査」、「聴性誘発反応検査装置」、「舌圧計」、「救急蘇生装置」、「内視鏡」は半数以上の養成所で設置されておらず、特に専門学校においては大学と比較し未設置の割合が高い状況であった。

以上